

第 I 章 国際森林年の設定

1. 国際森林年の背景

世界の森林は、依然として面積の減少や劣化が進んでおり、森林の持続的な管理・利用に向けた取組みを世界中で加速させる必要がある。また、1992年の「地球サミット」を契機に採択された、「リオ3条約」と呼ばれる「気候変動枠組条約」、「生物多様性条約」、そして「砂漠化対処条約」の目標達成を果たす際には、世界の森林の減少・劣化が大きな課題になっている。

こうした中で、世界の森林の減少・劣化をくい止め、持続可能な森林管理・利用を拡げていくためには、幅広い方々の森林への意識を高めていくことが必要である。政府や森林所有者、林業関係者による取組みに加え、企業や消費者も原材料の調達や木製品の購入という事業活動や消費活動を通して森林との関わりがある。

そこで、2006年の国連総会では、「森林に対する世界の市民の参加と理解」を目的として2011年を「国際森林年」とすることが決議された。この決議は、各国政府、国連機関、NGO、民間セクター等に対して、現在・未来の世代のため、全てのタイプの森林の持続可能な経営、保全、持続可能な開発を強化することに係る認識を高めるよう求めている。

緑多く公平で持続的な将来をつくるため、森林そのものと持続可能な森林経営に係る認識を高める機会として、年間を通じたイベントにより成功事例や解決方策を普及し、全てのレベルで活動への参加を促進することを目指している。

2. 国際森林年の世界的テーマおよびロゴ

2011年「国際森林年」の国際テーマは「Forests for People（人々のための森林）」である。森林は人々の暮らしを守り、多様な生き物の棲み家である。さらに、森林はさまざまな生命の源となる水を育み、食料から木材、医療品を生み出すとともに、地域から地球レベルで安定した気候や環境の維持に貢献する。こうしたことから、70億人の人類全ての生存と幸福にとって森林は欠かせないものであり、一人ひとりの行動の重要性も示しているテーマとなっている。

国際森林年のロゴマークは、「Forests for People（人々のための森林）」というテーマを伝えるもので、世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割をたたえるものとなっている。人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザインである。



**INTERNATIONAL YEAR
OF FORESTS • 2011**



2011 • 国際森林年

国際森林年のロゴ（英語版、日本語版）

3. 国際森林年に関する世界の取り組み

全ての森林の持続可能な経営を目的に設立された政府間機関「国連森林フォーラム」（UNFF : United Nations Forum on Forests）事務局が中心となり、各国政府や「森林に関する協調パートナーシップ（CPF）」等と協力して国際森林年の活動が実施された。

2011年2月2日、第9回国連森林フォーラム会合（UNFF 9）の閣僚級会合に先立って「2011年国際森林年公式開幕式典」が開催され、以降様々な活動が世界各地で繰り広げられた。

〔世界的に行われた主な取り組み〕

■ 「2011 国際森林年」の公式ウェブサイト

情報共有のためマルチメディアのウェブサイトを立ち上げ、各レベルで計画中の活動や電子媒体の広報素材を掲載。

■ 「2011 国際森林年」記念切手

森林をテーマとしたヨーロッパ切手など、世界各国で国際森林年記念切手を発行。

日本においても、郵便事業株式会社は国土緑化・国際森林年記念切手を発売。全国植樹祭開催地の和歌山県の代表的な樹木とセットのデザイン。

■ ロゴマーク等の広報資料

公式ロゴマークは2010年6月に発表。冊子、ポスター、プロモーションビデオ等も制作。

■ 「2011 国際森林年」フィルム・フェスティバル

事務局は、定評ある環境フィルム・フェスティバルと共同で世界中から映像を募り、国際森林年のテーマに沿った映写会を開催。

〔世界的に行われた取組の主なスケジュール〕

■ 2010年

- 6月 国際森林年ロゴマーク発表
- 11月30日 国際森林映画祭募集締め切り（12月に最終候補作品を発表）
- 12月13日～18日 第46回国際熱帯木材機関理事会（ITTO、横浜市）
- 12月18日 国際生物多様性年クロージングセレモニー
国際森林年ブリッジングセレモニー（石川県金沢市）

■ 2011年

- 1月24日～2月4日 第9回国連森林フォーラム会合（UNFF9）
（ニューヨーク国連本部）
- 2月2日 2011 国際森林年公式開幕式典（ニューヨーク国連本部）
- 3月7日、8日 国連持続可能な開発に関する国際会議（Rio+20）
第2回準備会合（ニューヨーク）
- 4月22日 アースデー
- 5月22日 国際生物多様性の日（テーマ：生物多様性と森林）
- 6月2日 FAO（国連食糧農業機関）による国際森林年 PR 動画の紹介
- 6月5日 世界環境デー
- 9月6日、7日 APEC 林業担当大臣会合（北京）
- 10月28日 ITTO 創立25周年記念イベント 『熱帯林の未来のために』
（横浜市）
- 11月7日～11日 第2回アジア太平洋森林ウィーク（北京）
- 11月14日～19日 第47回国際熱帯木材理事会（ITTO、アンティグア（グアテマラ））
- 12月17日～19日 国連生物多様性の10年国際キックオフ・イベント（石川県金沢市）

■ 2012年

- 2月9日 国際森林年クロージングセレモニー（ニューヨーク国連本部）

3-1. 国際森林年ブリッジングセレモニー

国際生物多様性年クロージングセレモニーと同日、「2010 国際生物多様性年」から「2011 国際森林年」に引き継ぐブリッジングセレモニーを石川県立音楽堂邦楽ホール（金沢市）で開催。

スピーチに立った鹿野農林水産大臣は、国際森林年の活動が世界レベルで展開され、持続可能な森林経営が推進されるよう、期待を述べた。

【日時】2010年12月18日（土）14：00～18：05

【場所】石川県立音楽堂邦楽ホール（石川県金沢市）

【参加人数】400名

【報道状況】2010年

北國新聞（12/19）

北國中日新聞（12/19）

【プログラム】

1. IYF スピーチ

鹿野道彦	（農林水産大臣）
ドラゴ・シュタンブク	（駐日クロアチア共和国大使館特命全権大使）
ジャン・マッカルパイン	（国連森林フォーラム事務局長）
沼田早苗	（国際森林年国内委員会委員、写真家）

2. ブリッジングセレモニー

飯塚昌男（国際森林年国内委員会、日本林業協会会長）を交え写真撮影

3. 閉会スピーチ

山野之義（金沢市長）

3-2. 2011 国際森林年公式開幕式典

UNFF9 の閣僚級会合の冒頭、公式開幕式典が開催され、国連総会議長、事務総長、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ氏などから祝辞が伝えられた。

その後、円卓会合が開催され、我が国からは角（すみ）国連大使が演説。閣僚級会合の最後には、持続可能な森林経営と全てのタイプの森林に関する法的拘束力を有さない文書

（Non-Legally Binding Instrument on All Types of Forests:NLBI）の重要性や、国際協力等の今後の取組について明らかにした閣僚宣言が採択され、2012年に開催される国連持続可能な開発会議（リオ・プラス20）に報告されることとなった。

また、会合開催中のサイドイベントとして、日本は、インドネシア政府、国際熱帯木材機関（ITTO）、国際協力機構（JICA）及び国土緑化推進機構との共催により、地域社会に基盤を置いた持続可能な森林経営への取組について紹介するイベントを2月3日（木）に開催し、多数の参加者から好評を得た。

【日時】 2011年2月2日（火）～2月4日（木）

【場所】 ニューヨーク国連本部

3-3. 「2011 国際森林年」 フィルム・フェスティバル

定評ある環境フィルム・フェスティバル「Jackson Hole Wildlife Film Festival」と共同で世界中から映像を募り、国際森林年のテーマに沿った映写会を開催。世界30カ国より165作品の応募があり、予備選考で最終候補作品として31作品が選ばれ、その後、最終選考を経て、計17作品が受賞作品として選ばれた。

ニューヨーク国連本部で開催された2011国際森林年公式開幕式典の際に、国際森林映画祭の結果発表が行われ、日本放送協会（NHK）が国際共同制作に参加した「The Queen of Trees」が最優秀賞を受賞した。

（参照：P14「2011 国際森林年」 フィルム・フェスティバル 受賞作品一覧）

3-4. 国際森林年記念書籍「Forests for People」

国連森林フォーラム（UNFF）が英国の出版社チューダー・ローズと連携して国際森林年記念書籍を出版。2012年2月9日の国際森林年クロージングセレモニーで発表された。75名以上の執筆者が持続可能な森林経営について写真入りで紹介された。

我が国からは、鹿野農林水産大臣が冒頭のステートメントの一つを寄稿したほか、林野庁、住友林業（株）、国立環境研究所、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、海洋研究開発機構

（JAMSTEC）、リモート・センシング技術センター（RESTEC）の担当者がそれぞれ記事を執筆した。

●参考：「2011 国際森林年」フィルム・フェスティバル受賞作品一覧

1. 最優秀賞

■ The Queen of Trees

※NHK が、ディープブルーアンドストーンプロダクション（英）、WNET（米）、グラナダ・インターナショナル（英）、BBC（英）、ZDF（独立）と共に、国際共同制作

2. 各分野の受賞作品

応募分野	受賞作品
これが私の森林	Conflict Tiger
課題と解決	Hope in a Changing Climate
360度全て森林に関すること	Green
生きている森林	Kingdom of the Forest
森林の英雄	Climbing Redwood Giants
短編	Nom Tew (Man of Soil)

3. 審査員特別賞

■ Switch Today

■ The Man Who Stopped the Desert

■ The Ancient Forests

■ Amazon Alive : Jungle of the Mind

4. 我が国からの応募作品

応募分野	応募作品
これが私の森林	森聞き (Morikiki : Mountains, Students and Sages)
課題と解決	アグロフォレストリー (Agroforestry)
360度全て森林に関すること	葉っぱのフレディ (Freddie the Leaf)
生きている森林	里山 ※最終候補作品 (Satoyama: Japan's Secret Forest)
短編	樹と共に生きる (Life in a Vibrant Satoyama Forest)
短編	吉野の森 (The Forests of Yoshino)

3-5. フォレスト・ヒーローズ

国際森林年に際して森林に貢献している功労者を世界中から募集して顕彰する「フォレスト・ヒーローズ」を実施。国連本部で開催された国際森林年クロージングセレモニーにおいて、各地域より1名ずつ、合わせて5名の最終入選者が発表・表彰された。

【日時】2012年2月9日（木）10：00～

【場所】ニューヨーク国連本部

【報道状況】

読売新聞（2/8、2/10）

朝日新聞（2/9）

産経新聞（2/10）

毎日新聞（2/10）

東京新聞（2/10）

ジャパントイムズ（2/11）

日本テレビ（2/10）

テレビ朝日（2/10）

TBSテレビ（2/10）

フジテレビ（2/10）

【受賞者】

〔アジア地域〕 畠山重篤（日本国）

牡蠣、帆立養殖業のかたわら「森は海の恋人」をテーマに気仙沼湾上流の植樹を続けている。

〔アフリカ地域〕 ポール・ゼカ（カメルーン共和国）

1990年に養蜂と自然保護の団体を設立し、30の農村を支援。約69万本の植樹を行う。

〔欧州地域〕 アナトリー・レベデフ（ロシア連邦）

環境活動家。固有生態系を脅かす建設工事に反対し、スギ林の禁伐措置に結び付けた。

〔中南米地域〕 パウロ・アダリオ（ブラジル連邦共和国）

森林減少に対処するためアマゾンのデニ部族の土地利用を支援。160万haの原生林を守る。

〔北米地域〕 リアノン・トムティシェン（アメリカ合衆国）

マディソン・ボルバ（アメリカ合衆国）

11歳からオランウータン保護に取り組み、現在はガールスカウトとして「持続可能なクッキー」の普及に取り組む。

〔特別表彰〕（故人）ジョゼ・クラウジオ・リベイロ・ダ・シルバ（ブラジル連邦共和国）
（故人）マリア・ド・エスピリト・サント・ダ・シルバ（同上）
夫婦でアマゾン熱帯雨林の違法伐採への反対運動に取り組む。

【受賞者：畠山重篤氏のプロフィールと功績】

- NPO 法人「森は海の恋人」理事長、エッセイスト、京都大学 フィールド科学教育センター社会連携教授、農林水産省 政策評価第三者委員会 委員。
- 地元で平成元年から植樹を続け、気仙沼湾に注ぐ大川上流には約 3 万本の落葉広葉樹が植えられた。
- また、川の流域に暮らす子供たちへの環境教育の重要性を感じ、平成 2 年から体験学習を開始。今までに招いた子供たちは、10,000 人を超える。

3-6. 国際森林年クロージングセレモニー

国際森林年クロージングセレモニーでは、フォレスト・ヒーローズの授賞式に加え、国際森林映画祭の特集映像及び 2011 世界郵便連合の手紙コンテスト受賞者の紹介、2011 子ども芸術コンテストの受賞者が発表された。また、35ヶ国、75の寄稿を綴った「人々のための森林」記念書籍の発表が行われた。

【日時】 2012 年 2 月 9 日(木) 10 : 00～

【場所】 ニューヨーク国連本部

